

令和5年度鳴門市部長実行宣言

企業局	
企業局長 近藤 伸幸	企業局次長 三居 康伸

水道企画課・水道事業課・浄水場・ボートレース企画課・ボートレース事業課

視 点 （該当する視点を選択）	
☒ 最重要課題	☐ チャレンジ ☐ SDGs取組推進
宣 言 項 目 （※非公表の場合は項目名に「（非公表）」と記載）	
モーニングレースの通年開催の着実な実施と売上向上	
現 状	課 題
モーニングレース開催日数の推移 平成30年度 90日/180日、令和元年度 90日/186日 令和 2年度 96日/186日、令和 3年度 141日/184日 令和 4年度 141日/186日、令和 5年度 174日/180日	○鳴門はモーニングレースへの参画が後発のため先行3場（芦屋・唐津・徳山）と比べファンへの浸透度や平均売上（全体）が低い ○モーニングレース開催は他場（特にボートレースチケットショップ（B T S））による場間場外発売がされにくい ○モーニングレース開催による本場への来場者と売上の減少
令和5年度目標	目標達成及び課題解決に向けた具体的取組
令和5年度売上目標（G I 競走を除く） 566.5億円 ※ 内訳：本場15.5億円、エディウィン6億円 土佐1.4億円、美馬1.4億円、阿波かもじま2.1億円 電話投票384.2億円、他場155.9億円	○電話投票キャンペーン（キャッシュバック）やスポーツ新聞・ボートレース専門誌への出稿、ウェブ・アプリ向けの無料予想配信、インターネット広告配信などの実施 ○他施行者及びB T Sへボートレース鳴門の場間場外発売をしていただくよう継続的に依頼 ○コロナ後における本場内でのイベント（仕事体験テーマパーク「カンドゥー」、北海道物産展など）や本場来場ツアーなどの実施

令和5年度鳴門市部長実行宣言

企業局		
企業局長 近藤 伸幸	企業局次長 三居 康伸	水道企画課・水道事業課・浄水場・ボートレース企画課・ <u>ボートレース事業課</u>

視 点 （該当する視点を選択）	
☒ 最重要課題	☐ チャレンジ ☐ SDGs取組推進
宣 言 項 目 （※非公表の場合は項目名に「（非公表）」と記載）	
ボートレース新整備棟建設・水上施設更新事業	
現 状	課 題
昭和45年建設のボートレース整備棟は耐震性能が無く老朽化していたため、施設の建替えに向け令和4年度に基本設計を策定、実施設計に着手した。令和5年8月から第一期工事を計画している。 また、レース開催に不可欠な水上設備（大型映像装置ユニット及び大時計）についても、耐用年数を迎えていることなどから早期の更新が必要である。	○新整備棟 レースを休むことなく複雑な工事を実施することから、工程管理や選手・職員など関係者の安全確保をしながら工事を行う必要がある。 ○水上設備 設備更新工事はレース非開催約1ヶ月間の工期を要するなどタイトなスケジュールとなる。また、製品の搬入手法等も検討が必要。
令和5年度目標	目標達成及び課題解決に向けた具体的取組
○新整備棟 ・令和4年度から進めている実施設計を策定し、第一期工事（競技本部棟及び仮設整備棟の建設）完了をさせ、年度内に現整備棟から完了した部分の機能移転を行う。 ※令和6年4月から第一期工事分を稼働、第二期工事に着手する。 ○水上設備 新整備棟改修事業に伴うレース非開催期間の令和6年3月を活用し、大型映像装置ユニット及び大時計の更新を年度内に完了させる。	○新整備棟 月1回の定例会議を開催するなど、関係者間で綿密な情報共有を図りながら工程管理を行い、6月には実施設計を策定、8月には第一期工事に着手。令和6年2月には第一期工事を完了させる。 ○水上設備 レース非開催期間の令和6年3月に工事着手できるよう工程管理を行い、早期に仕様書等の作成し夏頃までの契約を目指す。事業者が決定次第、令和6年2月中の製品の納入ができる工程や搬入手法等を直ちに検討する。

令和5年度鳴門市部長実行宣言



企業局	
企業局長 近藤 伸幸	企業局次長 三居 康伸

水道企画課・水道事業課・浄水場・ボートレース企画課・ボートレース事業課

視 点 （該当する視点を選択）	
☒ 最重要課題	☐ チャレンジ
☒ SDGs取組推進	
宣 言 項 目 （※非公表の場合は項目名に「（非公表）」と記載）	
鳴門市・北島町共同浄水場整備事業	
現 状	課 題
鳴門市と北島町の浄水場は、旧吉野川を挟み対面位置にあり老朽化が進み耐震性も低いという共通課題も抱えていたため、平成29年度共同化に向け協議会を設立、検討を重ね令和元年度基本計画策定、令和2年度事業者選定を行い、令和3年度事業に着手し、令和4年度は各棟の基礎工事や天日乾燥床の建設を行った。	○既設浄水場を運用させながら限られた敷地での工事、建設・解体が順次行われる複雑な進捗管理と新施設へのスムーズな移行 ○規模が大きい事業であるための適切なコスト管理 ○供用開始後の効率的な維持管理の検討
令和5年度目標	目標達成及び課題解決に向けた具体的取組
現浄水場からの水の供給を絶やすことなく、新たな浄水場を建設するため、限られた敷地と現場条件を踏まえて効率的な施工を行うとともに、複雑な工程の管理と慎重な工法の検討を行いつつ事業の進捗を図る。 （供用開始は令和8年度からの予定） また、供用開始後に向けて北島町との維持管理等についての検討を始める。	○進捗管理 R5～7年度 建設工事 R8年度 供用開始 撤去工事 R5年度 浄水処理棟・管理棟・着水井設備棟の躯体工事 場内配管工事 河川横断推進工事 ○事業者と協議し、民間ノウハウの活用と適切なコスト管理を行う ○北島町と維持管理に必要な体制、既存施設の方針、費用負担等について検討を行う